News Release

西日本シティ銀行

2018 年 5 月 30 日

QB 第一号ファンド　「日本環境設計株式会社」への出資について

西日本シティ銀行（頭取 谷川 浩道）は、地域の事業会社等と共同で出資している「QB 第一号ファンド」（以下「本ファンド」）において、14 件目の投資案件となる「日本環境設計株式会社（代表取締役社長 髙尾 正樹）」（以下「当社」）へ出資を行いましたので、お知らせします。

当行は、地域金融機関として、本ファンドを通じて大学発ベンチャーの成長及び地域経済の活性化を積極的に支援してまいります。

記

１．対象企業の概要

会　社　名	日本環境設計株式会社
本 社 住 所	東京都千代田区霞が関 3-2-5 霞が関ビルディング 25 階
工 場 設 備	北九州響灘工場、今治工場、川崎工場
代　表　者	代表取締役社長 髙尾 正樹
設　立	2007 年 1 月 16 日
事 業 内 容	リサイクルプロジェクト「BRING」の企画・運営 再生プロダクトの製造・販売

当社は、北九州市立大学出身の岩元氏と東京工業大学出身の髙尾氏が、2007 年に起業したベンチャー企業で、再生ポリエステル製造事業や携帯電話リサイクル事業において、使用済み製品の回収から、輸送、再生材の製造（リサイクル）、流通、販売及び再生材を使用した製品のブランディングとマーケティングに至るまで、製品のサプライチェーンをパートナーと共に構築し、オペレーションを実施しています。

また、当社は、大阪大学との共同研究などにより、綿繊維由来バイオエタノール製造技術など革新的なリサイクル技術を開発してきました。当社の技術は、衣料品製造において、石油資源の使用量削減への寄与が期待されています。

２．出資の理由

本件は、当社の下記の点を評価し、出資を行いました。

（１）高い技術力

衣料品などから石油由来成分と同等品質の再生ポリエステルの製造を可能とする独自のリサイクル技術の開発に成功するなど高い技術力を有すること

（２）成長性

複数の大手アパレル企業などが、環境貢献活動の一環として衣料品のリサイクルに取り組んでおり、今後、当社技術の活用ニーズの高まりが期待されること

（３）地域経済の活性化

大学等の研究成果を活用した新たな事業の創出及びベンチャー企業の創業支援を行うことにより、地域経済の活性化が期待されること。

以　上

参　考

『QB 第一号ファンドについて』

本ファンドは、当行が九州大学の特定関連会社である株式会社産学連携機構九州と共同で設立した QB キャピタル合同会社が運営するもので、九州地域の大学の研究成果を活用した新産業の創出による九州経済活性化を目的に設立されました。

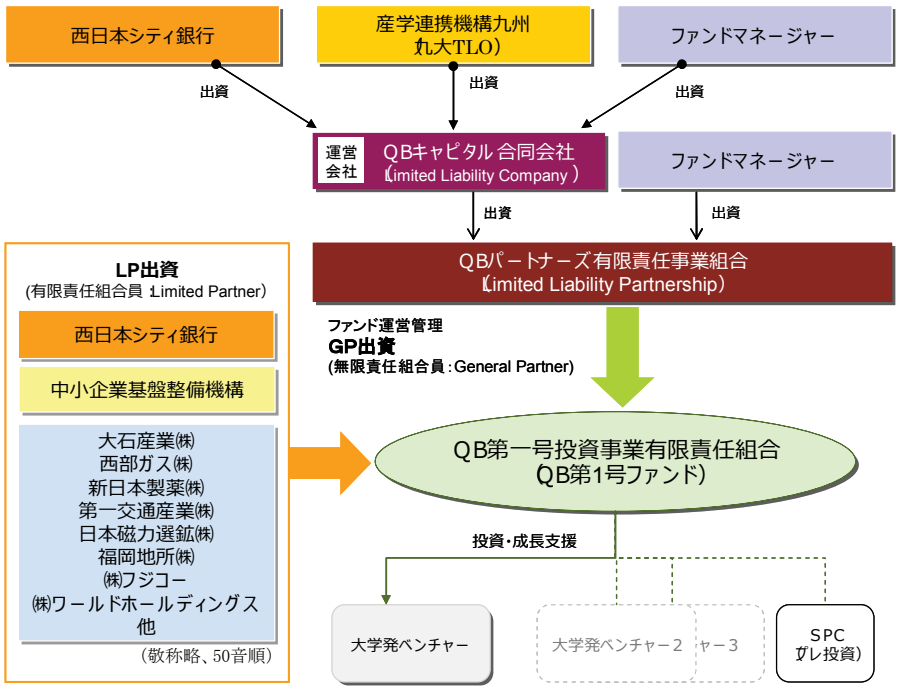
１．ファンドの概要

名　　称	QB 第一号投資事業有限責任組合（通称：QB 第一号ファンド）
設　立　日	2015 年 9 月
ファンド総額	約 31 億円
無限責任組合員 (GP：General Partner)	QB パートナーズ有限責任事業組合
有限責任組合員 (LP：Limited Partner)	株式会社西日本シティ銀行、独立行政法人中小企業基盤整備機構 地域事業会社　他
存　続　期　間	10 年間

２．運営会社の概要

名　　称	QB キャピタル合同会社
設　立　日	2015 年 4 月
所　在　地	福岡市早良区百道浜 2-1-22 SRP センタービル
出　資　者	株式会社西日本シティ銀行、株式会社産学連携機構九州　他
代　表　社　員	坂本 剛、本藤 孝

３．ファンドスキーム図



本件に関するお問い合わせ先
法人ソリューション部　渡辺・多良木　TEL092-476-2741